

**安全上の注意**

取付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付けをおこなってください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を「警告」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

**注意：人が傷害を負う可能性および物の損害のみの発生が想定される内容。**

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。左図の場合は分解禁止が描かれています。

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が示されています。左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてくださいが描かれています。

**警告**

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
取付注意

排気工事をされる場合は建築基準法 同施行令 および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意

火災などの原因になります  
取付注意

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意

誤った配線工事は感電や火災の原因になります  
取付注意

アースを確実に取り付けること  
取付注意

故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
取付注意

アースの取付けは販売店にご相談ください  
取付注意

取付禁止

メタルスズリ、ワイヤラスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付けること  
取付注意

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります  
取付注意

本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
取付注意

火災などの原因になります。詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください  
取付注意

レンジフードの壁への埋め込みはしないこと  
取付注意

漏電した場合、発火するおそれがあります  
取付注意

**注意**

レンジフードの取付けは、薄板の金属製 壁内ラッパなどと接触しないよう取付けること  
取付注意

漏電した場合、発火するおそれがあります  
取付注意

交流100V以外では使用しないこと  
取付注意

火災・感電の原因になります  
取付注意

自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配座をすること  
取付注意

排気口が室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すおそれがあります  
取付注意

**注意**

取り扱いの際は必ず両手の手袋をすること  
取付注意

浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください。)  
取付注意

感電および故障の原因になります  
取付注意

運転中は指や物を絶対に入れないこと  
取付注意

けがをするおそれがあります  
取付注意

レンジフードの取付けは、十分な強度のあるところを選んで確実に取付けること  
取付注意

落下によりけがをするおそれがあります  
取付注意

周囲温度が40℃以上になるところには取付けないこと  
取付注意

火災・故障の原因になります  
取付注意

**取付け上のお願**

下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者をおこなう必要があります。

- ・大工工事【設置のための下地工事等】
- ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等】
- ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

ダクトの不燃処理について

- ・ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。

調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。また調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。

屋外壁面の排気口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m<sup>2</sup>/h時50Pa以下のものでご使用ください。

防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじりしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

製品は調理機器の真上に取り付けてください。

なお、製品取付高は、アークスリットフィルタの下端が調理機器の真上85cm以上になるようにしてください。

レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けしてください。

湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因になります。

製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

建物が密閉されている場合は必ず、約400cm<sup>3</sup>程度の空気取入口を設けてください。寒い地域ではダクトが結露し本体内部に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

**取付け前の調査と準備**

**注意**

レンジフードの取付けは、十分強度のあるところを選んで確実に取付けること  
取付注意

落下によりけがをするおそれがあります  
取付注意

本体の取付け用座ねじは45mmの長さのものと同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付け用座ねじが確実に木部に届くことを確認してください。

1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。  
板張りの場合(取付面は必ず不燃処理をおこなってください)  
板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。  
板厚が20mm以上の場合は補強板の必要はありません。

コンクリート、タイルの場合  
あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

土壁の場合  
などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2 別売部品の準備

排気工事に伴って別売部品の準備が事前に必要です。

3 標準取付法

本製品の標準取付法は、調理機器の上面からアークスリットフィルタの下端まで85cmです。火災予防条例では、グリッドフィルタの下端が調理機器の上面80cm以上必要となります。

4 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相100V)  
コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

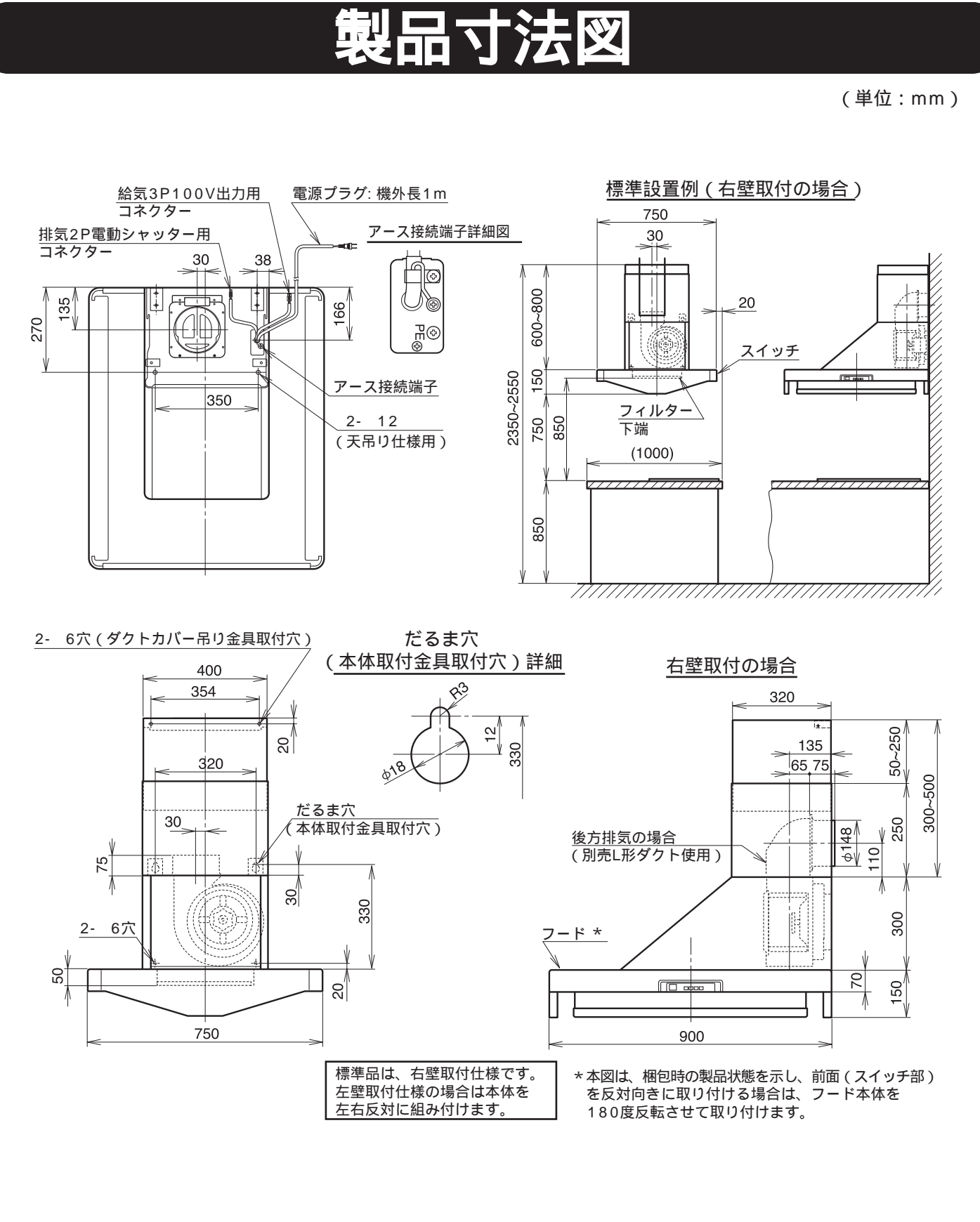
**お願い** 必ずアース(D接地工事)をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

**各部のなまえ**

ダクトカバー  
操作スイッチ  
前蓋  
本体  
ファン  
アークスリットフィルタ(グリッドフィルタ)  
整流板  
フード  
センターカバー

**付属品**

- 座付ねじ 5.1 x 45 (6本)
- 化粧ねじ M4 x 8 (4本)
- トラスねじ M5 x 12 (2本)
- 吊り金具 (2個)
- フード引掛金具 (1個)
- 排気口 (1個)
- ダクトカバー吊り金具 (1個)
- ソフトテープ (1本)



**取り付けかた**

**1. 排気方向の決定**

**警告**

メタルスズリ、ワイヤラスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付けること  
取付注意

排気工事をされる場合は建築基準法 同施行令 および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意

火災などの原因になります  
取付注意

本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
取付注意

火災などの原因になります。詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください  
取付注意

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。

2 150のステンレスダクト、またはスライラダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

上方排気の場合

後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)

2) フード部に接続している2ヶ所のコネクタをはずします。(図2-5)

3) 本体を止めるには2本のねじをはずし(ねじは必ず使用します)、本体を横にスライドさせてフードと分離します。(図2-5)

**お願い** コネクタをはずすかたについて

コネクタをはずす際は、ツメの部分を押しながら、まっすぐ引き抜いてください。無理にひねると断線するおそれがあります。

5 本体を取り付けます。

1) だるま穴用座付ねじをねじ込みます。だるま穴用(左右各1ヶ所)に座付ねじ(5.1 x 45)を壁面との隙間5mmまで挿入してください。(図2-6)

2) だるま穴用座付ねじに吊り金具を引っ掛けた後、しっかり締め付けてください。(図2-7)

**お願い** 上方排気の場合、ダクトに排気口の差込みながら本体を取り付けてください。

3) 座付ねじ2本で本体をしっかり固定します。(図2-7)

3 ダクトカバーを取り付けます。(図4-3)

本体上面内側の左右にある取付金具を固定している化粧ねじをゆるめ、座付ねじにUノッチが引っ掛かるようにダクトカバーを前から差し込み、取付金具のねじを締めてダクトカバーを固定します。

4 ダクトカバーを固定します。(図4-3)

ダクトカバー吊り金具に付属の化粧ねじ2本で固定します。

**5. 電気配線**

**警告**

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
取付注意

火災・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります  
取付注意

交流100V以外では使用しないこと  
取付注意

火災・感電の原因になります  
取付注意

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
取付注意

誤った配線工事は感電や火災の原因になります  
取付注意

アースを確実に取り付けること  
取付注意

故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
取付注意

アースの取付けは販売店にご相談ください  
取付注意

コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。  
コンセントは電源コードの長さやダクトカバーのサイズに合わせて右側の斜線の範囲内に設置してください。(図5-1)

必ずアース(D接地工事)をしてください。  
アース接地位置は「製品寸法図」を参照ください。  
アース線は取付作業員側にて手配してください。

ダンパー電動用100V出力線の配線は、電線被覆をストリップゲージに合わせてください。(図5-2)

**お願い** 通用電線は1.6または2VV2F2芯Cu(銅)単線専用です。

電源プラグをコンセントに差し込みます。  
**お願い** 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。

3 フードを本体に引っ掛けます。(図6-4)

フードを持ち上げ、やや左寄りにしてフード引掛金を本体のフランジに差し込みます。

4 フードを持ち上げます。(図6-4)

フードのフード引掛金具が本体に「カチッ」とロックするまで持ち上げます。

**お願い** 確実にロックされたことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けるとフード部が落下するおそれがあります。

5 フードを右へ寄せます。(図6-5)

本体のフランジとフード引掛金具右端が合わさるまで寄せると、本体とフードの取付穴が合います。

6 フードを本体に固定します。(図6-6)

本体とフードを仮止めたねじ2本と付属品のトラスねじ(M5 x 12)2本でしっかりと固定します。  
ねじを締め付ける際には、インパクトドライバー等は使用しないでください。ねじが緩むおそれがあります。

7 コネクタを接続します。(図6-6)

本体側のコネクタ2本をフード側のソケットに正しく接続します。

**お願い** コネクタの接続について

コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。コネクタを確実に接続しないと作動不良や発熱などによる故障の原因になります。

8 本体の前蓋を取り付けます。

前蓋上面のツメを本体に引っ掛け、下側のフックを本体のラッチへ「カチッ」と音がするまで押し込みます。(図6-8)

**2. 本体の取付け**

**注意**

レンジフードの取付けは、十分強度のあるところを選んで確実に取付けること  
取付注意

落下によりけがをするおそれがあります  
取付注意

ファンや部品の取付けは確実に取付けること  
取付注意

落下によりけがをするおそれがあります  
取付注意

1 付属品を確認します。

梱包箱から吊り金具、排気口、ねじなどの付属品を取り出して確認します。

2 吊り金具を取り付けます。(図2-1)

本体天板に2本ずつあらかじめ取り付けられている4本を使用し、付属品の吊り金具2本を天板に取り付けます。  
ねじを締め付ける際には、インパクトドライバー等は使用しないでください。ねじが損傷するおそれがあります。

3 排気口を取り付けます。

上方排気の場合(図2-2)

排気口に付属品のソフトテープを貼り直接本体に取り付けます。  
排気口は本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けしてください。(取付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので必ずご使用ください。)

後方排気の場合(図2-3)

別売のL形ダクトを使用する場合)

排気口に付属品のソフトテープを貼り別売のL形ダクトに取り付けます。  
排気口は、L形ダクトに付属の取付ねじ4本でL形ダクトに取り付けてください。(L形ダクトは後で本体上面に取り付けます。)

**お願い** 別売のL形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因になります。

**3. ダクトと排気用部品の接続**

**お願い** ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図のドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。(図3-1)

上方排気の場合(図3-2)

風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこなってください。

後方排気の場合(図3-3)

別売のL形ダクトを使用する場合)

1 L形ダクトを取り付けます。  
L形ダクトを本体上部の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けしてください。  
(取付ねじは、あらかじめ本体のL形ダクト取付部に止めてありますので必ずご使用ください。)

2 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこなってください。

排気口設置面の漏れ確認のお願い(図3-4)

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(フード表面等)が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。  
漏れる場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等で現場調達品にて漏れ防止処置をおこなってください。

**6. フードの取付け**

出荷時は、フードの操作スイッチを正面にして、右側が壁面となる仕様になっています。(図6-1)

右壁取付の場合(図6-2)

1 操作スイッチを正面にして右側にフードの引掛金具があることを確認してください。

2 フード引掛金具を取り付けます。  
フード上面のフード引掛金具を図のように内側に入れ、付属品の化粧ねじ2本で取り付けます。

手順3に進みます。

左壁取付の場合(図6-3)

1 フード引掛金を付け替えます。  
フード上面にあるフード引掛金具が操作スイッチを正面にして左側になるよう反対側に付け替えます。

2 フード引掛金具を取り付けます。  
付属品のフード引掛金具を図のように内側に入れ、付属品の化粧ねじ2本で取り付けます。

**7. 試運転**

**注意**

運転中は指や物を絶対に入れないこと  
取付注意

けがをするおそれがあります  
取付注意

ブレーカーを「入」にします。  
各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。  
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。  
運転時、各連動の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。  
異常な騒音、振動がないことを確認してください。  
屋外の排気口から排気音が、異常音がないことを確認してください。  
取付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

**正しい接続例**

**誤った接続例**

4 フードと本体を分離します。  
出荷時、フードと本体はねじ2本で仮止めされています。

1) 前蓋(本体上面)の下側にはいるテープを引き上げ、前蓋をはずします。(図2-4)

**4. ダクトカバーの取付け**

1 ダクトカバー吊り金具を取り付けます。(図4-1)

図のように切り欠きのあるほうを上にして、座付ねじ2本で取り付けます。(本体の寸法に対し左右約3mm内側になります。)

2 ダクトカバーの高さを調整します。(図4-2)

ダクトカバーはスライド式になっています。必要の高さを計算し、内面両側ねじをゆるめ、表穴で調整し、固定します。  
ねじ穴は2つありますので高さが合わない場合は入れ替えて使用してください。

1 フード引掛金を付け替えます。  
フード上面にあるフード引掛金具が操作スイッチを正面にして左側になるよう反対側に付け替えます。

2 フード引掛金具を取り付けます。  
付属品のフード引掛金具を図のように内側に入れ、付属品の化粧ねじ2本で取り付けます。

**8. お客様への説明**

取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。  
取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

[製造元] **富士工業株式会社**  
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9  
TEL 042(768)3754 (営業部)